

めあて 学しゅうした かん字や なたかなを よんだり、かいたり しよう。

一 つぎの | せんの | ところの | かん字の | 正しい | よみかたを
 ひらがなで | ていねいに | かきましよう。

1 水 | を | のむ。

2 ほ | そ | い | 糸 | 。

3 草 | が | は | える。

4 赤 | い | く | つ | を | は | く。

--	--	--	--

二 つぎの えを 見て、かたかなの ことばを かきましよう。

口



又



ハ



ト
ル



ヌ
ト
フ
オ



※つぎの ページにも 問題が あります。

めあて どんな ふねがあるかに きをつけて 文しよを よもう。

三 つぎの 文しよを よんで、あとの もんだいに こたえましよう。

いろいろな ふね

ふねには、いろいろな 物が あります。
きやくせんは、たくさんの 人を はこぶ ための
ふねです。

この ふねの 中には、きやくしつや
しよくどうが あります。

人は、きやくしつで 休んだり、しよくどうで
しよくじを したり します。

フェリーボートは、たくさんの 人と
じどう車を いっしょに はこぶ ための ふねです。

この ふねの 中には、きやくしつや 車を とめておく
ところが あります。

人は、車を ふねに 入れてから、きやくしつで 休みます。

「いろいろな ふね」より(令和二年度 東京書籍)



1 きやくせん^にの^{つた}人は、しよくどうで^何を^なしますか。
あう^にことばを^かきましよう。

しよくどうで
を^します。

2 フェリーボートは^何の^ための^ふね^ですか。
あう^にことばを^かきましよう。

たくさんの 人と
を^はこぶ^ため

3 フェリーボートに^何の^{つた}人は、じどう車を^ふね^に
入れてから^どこで^何を^しますか。
あう^にことばを^かきましよう。

で
。

めあて 書き手がつたえたいことを考えて、だいたいなことばや文をさがしながら読もう。

一 次の文しよを讀んで、あとの問題に答えましよう。

コンセントに さしこむ プラグの 先には、あなが あいて います。これは、出っぱりを 引っかける ための あなです。

コンセントの 中には 出っぱりが あり、それが、プラグの あなに 引っかかる ように なって います。この ことに より、プラグが ぬけにくく なるのです。

うえ木ばちの そこには、あなが あいて います。これは、いらぬい水を 外に 出す ための あなです。たくさん 水を やった ときに、あなが ないと、水が 下の 方に たまって しまします。水が 長い間 たまって いると、ねが くさる ことが あるのです。

しよゆさしには、二つの あなが あいて いる ものが あります。二つの うち、一つは、しよゆを 出す ための あなで、もう 一つは、空気が 入る ための あなです。しよゆが、小さい あなを 通って 出るには、空気の 通り道が ひつようです。あなが 一つしか ないと、空気が 入って こないので、しよゆが 出なく なって しまふのです。

このように、あなには、いろいろな やくわりが あります。このほかに、みの 回りには あなの あいて いる ものが たくさん あります。みなさんも あなを さがして、どんな やくわりが あるか 考えて みましよう。

「あなのやくわり」より (令和二年度 東京書籍)

1 田中さんは、あなのやくわりをつぎの【ひよう】にまどめました。【ひよう】の①から③に入ることばをあとのアからオの中からえらんで、その記号を書きましよう。

【ひよう】

あなのしゆるい	なんのため	どんないいことがある
プラグの先のあな	①	プラグがぬけにくくなる
うえ木ばちのそのあな	いらぬい水を外に出すため	②
しよゆさしの二つのあな	一つはしよゆを出すため もう一つは、空気が入るため	③

- ア コンセントの中にある出っぱりをひっかけるため
- イ コンセントからぬきやすくするため
- ウ 空気が通って、しよゆがでる
- エ 空気がしよゆをとめて、出すぎないようになる
- オ ねがくさらないようになる

③	②	①

※つぎのページにも問題があります。

めあて がくしゅう 学習した漢字を讀んだり書いたりできるようにしよう。

二 次つぎの — 線部せんぶの漢字かんじの正しい読み方を、
ひらがなでていねいに書きましょう。

1 野原のに行く。

2 鳥とりが鳴く。

3 みんなで歌うたう。

4 ゆっくり歩あく。

5 晴はれた空。

三 次つぎの — 線部せんぶのカタカナを、漢字かんじで
ていねいに書きましょう。

1 家いへにカエる。

2 ヒルひるねをする。

3 おきるジカじかんだ。

4 タたノしい本。

5 星ほしをカゾえる。

めあて 文章を読んで、自分の考えをもとう。

一 ほけん室の大森先生は、毎月「ほけんだより」を出しています。大森先生は、最近朝ごはんを食べない人がふえているのに気がつきました。そこで、朝ごはんをしっかり食べてほしいと思って、「ほけんだより」に、朝ごはんについて書くことにしました。

大森先生が書いた次の文章を読んで、あとの問題に答えましょう。

朝ごはんをしっかり食べよう

みなさんは、朝ごはんをきちんと食べていますか。

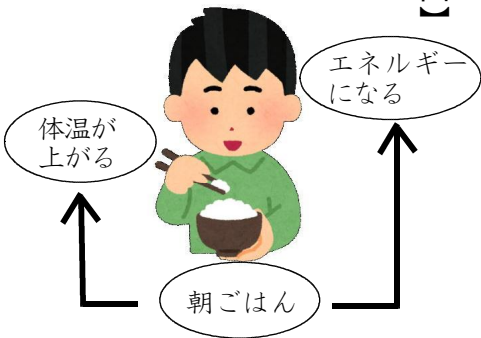
【図】

朝ごはんは、みなさんが元気に生活するために、大切なものです。

朝ごはんは **ア** になります。みなさんが、体を動かしたり、勉強したりするためには、エネルギーがひつようです。ですから、朝ごはんを食べないと、エネルギーがなくなってしまい、体がだるくなってしまいます。

また、朝ごはんを食べると、 **イ** 、体を動かすじゅんびができます。お昼くらいまで高い体温がつづくので、午前中を元気にすごすことができるのです。

朝ごはんには、ごはんやパンだけでなく、ほかの食べものもいっしょに食べるとよいですね。



朝ごはんは、毎日のけんこうのためにかかすことのできない、大切な食事です。朝ごはんをしっかり食べて、元気に生活しましょう。

『ほけんだより』を読みくらべよう」より(令和二年度 東京書籍)

1 大森先生は、朝ごはんの大切さを分かりやすく伝えるために、文章の内ようを **【図】**でも表しています。**【図】**を参考にして、空らん**ア**、**イ**に当てはまる言葉を前後の文に合うようにそれぞれ六字以内で書きましょう。

ア

イ

※次のページにも問題があります。

めあて 文章を読んで分かったことについて、感想や考えをもとう。

一 田村さんは次の【文章】を読み、感想や考えたことについて、学級の人みんなに伝えることにしました。次の【文章】と、田村さんが分かったことやぎもんと思ったことをメモした【ふせん①】から【ふせん④】を読んで、あとの問題に答えましょう。

【文章】

～（省略）～

二〇〇九年は、点字を発明したフランス人、ルイ・ブライユが生まれてから二百年という年でした。これを記念して、わたしは、民博で「さわる」てんらん会をきかくしました。

このてんらん会では、点字の役わりを多くの人に知ってもらうだけでなく、「さわる文化」の意味についても考えてみました。その後も、さわることの楽しさや「さわっておどろく」体験を、目が見える人たちにどうやって伝えていけばいいのか考えながら、てんらん会以外でも、あれこれためています。

わたしは、さわることで分かるおもしろさ、さわらなければ分からない事実、そういうものが世の中にはたくさんあるのではないかと思います。目が見える人たちはそのことに気づいていないのではないのでしょうか。そんなことを考えるためのきっかけがあると、目が見える人と見えない人の関係も変わってくるはずですよ。

目の不自由な人を「しょうがい者」とよぶのではなく、さわることを得意とする人だととらえ直すと、目が見える人と見えない人の関係は、「視覚にたよって生活する人」と「触覚にたよって生活する人」のコミュニケーションだということができます。

そうなる、見える人が見えない人をサポートする、助けるといふ一方の矢印ではなく、「見る文化」「さわる文化」の持ちようを学び合う、両方向の矢印が成り立つのではないのでしょうか。

「さわっておどろく」広瀬浩二郎 より（令和二年度 学校図書）

【ふせん①】
筆者は、点字の役わりを多くの人に知ってもらい、さわる文化の意味について考えてもらうために、をきかくした。

【ふせん②】
前に目かくしをして物を当てるゲームをしたけど、さわって初めて分かったことがあった。

【ふせん③】
目の不自由な人を、さわることを得意とする人だととらえ直すと、目が見える人と見えない人の関係が変わる。

【ふせん④】
「両方向の矢印」とはどのような意味だろう。分かりやすく説明したい。

※次のページにも問題があります。

1 【ふせん①】の に当てはまる内容を【文章】から十字以内で書きぬきましよう。

2 田村さんは、「両方向の矢印」とはどのような意味か、学級のみんなに分かりやすく説明することになりました。「両方向の矢印」とは何か、次の【じょうけん】に合わせて書きましよう。

- 【じょうけん】
- 【文章】または【ふせん③】から言葉や文を取り上げて書くこと。
 - 「関係」「学び合う（学び合い）」という言葉を用いること。
 - 「両方向の矢印とは、」ではじまり、五十文字以上、七十文字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくまない。

両方向の矢印とは、

めあて 学習した漢字を読んだり書いたりできるようにしよう。

二 次の——線部の漢字の正しい読み方を、三 次の——線部のカタカナを、漢字でひらがなでていねいに書きましよう。

1 友達と別れる

1 テッキョウをわたる

2 記録をとる

2 タイイクの時間

3 目印を見つける

3 ハサミをツカう

4 新しく手帳を買う

4 外でアソぶ

5 名案がうかぶ

5 ハナヂが止まる

めあて 文章全体の構成を考え、すじ道の通った文章を書くことができるようにしよう。

一 山下さんは、レクリエーションの時間にみんなでドッジボールをすれば、クラス全員がもっと仲良くなれると考え、意見文にまとめることにしました。山下さんが作成した反対意見に対応するための【反対意見への対応のメモ】と、意見文の構成を整理した【構成メモ】を読み、あとの問題に答えましょう。

【反対意見への対応のメモ】

予想される反対意見

反対意見に対して

○得意な人ばかりにボールが回り、ボールにさわれない人も出てくる。
○ドッジボールはかたいので、当たると痛い。
○得意な人の投げるボールは速くてこわい。
○ドッジボールは休み時間にもできないので、別の遊びをしたい。

・ボールを取った人が、まだ投げていない人にボールをわたすように、ルールを変える。
・ソフトバレーボールのようなやわらかいボールを使う。
・得意な人は、ききうではない方の方で、ボールを投げる。
・全員で行えば、休み時間にするのより、もっともり上がるのではないか。
・ドッジボールだとみんながルールを分かっている。

【構成メモ】

序論 じよろん	話題の提示	↓クラスをよりよくしていくにはどうすればよいか。 ↓全員が参加して楽しめる活動があるとよい。
本論 ほんろん	提案内容	レクリエーションの時間に、クラス全員でドッジボールをする。
	提案理由	(1)ドッジボールはクラスの中でも人気がある。 ・ルールの説明がわからない。 ・大勢で行えば、もっともり上がる。 (2)チームの協力が大切な遊びなので、クラス全体の仲が深まる。
	予想される反対意見	①得意な人ばかりにボールがいく。 ②ボールが当たると痛い。
	反対意見への対応	①↓ボールを取った人が、まだ投げていない人にボールをわたすようにする。 ②↓やわらかいボールを使う。
結論 けつろん	まとめ	みんなが楽しめるようなルールにすれば、ドッジボールはクラスをよりよくするのにふさわしい活動である。

「反対の立場を考えて意見文を書こう」より(令和二年度 東京書籍)

※次のページにも問題があります。

1 山下さんは、【構成メモ】で考えを整理する前に、【反対意見への対応のメモ】で反対意見を予想して対応を書き出しました。その理由としてふさわしいものを、次のアからエまでの中から一つ選びましょう。

- ア 提案内容に、反対意見への対応を加えることができるから。
- イ 話題の提示のときに、反対意見への対応を述べることができるから。
- ウ 自分の意見を見直し、納得してもらえよう修正できるから。
- エ 全ての反対意見への対応を書き、意見文の量を増やすことができるから。

2 山下さんは、【構成メモ】に整理した内容をもとに、予想される反対意見と反対意見への対応について、意見文の下書きを書くことにしました。あなたなら、どのように下書きを書きますか。【反対意見への対応のメモ】を参考にしながら、次の【条件】に合わせて書きましよう。

【条件】

- 【構成メモ】に整理した予想される反対意見のうち、①と②のどちらか一つを選ぶこと。
- 予想される反対意見と反対意見への対応がつながるように、「二文で書くこと」。
- 「一文目の終わりの言葉を」と考える人もいるでしょう。「にすること」。

選んだ予想される反対意見

(①または、②の番号を書きましよう)

--	--	--	--

めあて 学習した漢字を読んだり書いたりできるようにしよう。

二 次がなでていねいに書きましよう。線部の漢字の正しい読み方を、三 次がなでていねいに書きましよう。線部のカタカナを、漢字で

- 1 他国と貿易を行う。
- 2 長さを測る。
- 3 本を読破する。
- 4 体を清潔に保つ。
- 5 教師を志す。

--	--	--	--

- 1 キセツが変わる。
- 2 シケンを受ける。
- 3 ハイシャへ行く。
- 4 フシギに思う。
- 5 オキナワ県に行く。

--	--	--	--